

日 時 令和6年10月29日（火）
対 象 高等部21名（3年5名、2年10名、1年6名）
場 所 県立小林高等学校 体育館
指導者 山口 智佳（T1）、前田 悠介（T2）
高妻 秀行（T3）、安藝 美友希（T4）
高橋 瞳子（T5）、明治 和代（T6）

1 単元名 球技 ネット型「バレーボール」

2 単元の目標

- (1) バレーボールの楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。 (知識及び技能)
- (2) 自己やチームの課題を発見し、課題の解決に向けた練習方法やみんなが楽しむことができるルールを仲間と話し合い、伝え合うことができる。 (思考力、判断力、表現力等)
- (3) きまりやルールを守り、自分の役割に責任をもって取り組みながら仲間と協力して自主的に運動をすることができる。 (学びに向かう力、人間性等)

3 運動の一般的特性

本単元は、「特別支援学校 学習指導要領 知的障害者教科等編（高等部） 保健体育 球技」を取り上げている。球技は、個人やチームの能力に応じた作戦を立て、集団対集団、個人対個人で勝敗を競うことにより楽しや喜びを味わうことのできる運動であり、ゴール型、ネット型、ベースボール型で構成される。ネット型は、コート上でネットをはさんで相対し、身体や用具を操作してボールを空いている場所に返球し、一定の得点に早く到達することを競い合うことにより楽しや喜びを味わうことのできる運動である。また、ボールや味方との距離を把握したり、動いている人や物を見て自分の体を動かし対応したりする空間認識能力を高めることができる。球技の学習指導については、勝敗を競う楽しや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的なボールや用具等の操作と仲間と連携した動きで攻防を展開できるようにすることが求められる。

4 生徒の実態

（1）運動に触れる楽しさの体験状況

本校は知能障害の特別支援学校であり、小学部、中学部、高等部が設置されている。また各学部の設置形態として、小学部は東方小学校、中学部は東方中学校、高等部は小林高等学校と併設している。高等部については、通常学級が、1年生6名、2年生9名、3年生3名、重複障がい学級は、2年生1名、3年生2名、合計21名の生徒が在籍している。高等部では、年間指導計画で設定された単元を通常学級と重複障がい学級の生徒が合同で学習している。学年や障がいの種の枠にとらわれず、互いが考えたり、話し合ったり、発言したりすることで生徒同士の交流が深まり、協力して様々な活動に参加することができている。

生徒は、全員が知的障がいがあり、その中で、職員の見守りや個別の対応が必要な生徒が3名いる。通常

学級の1年生女子1名は、場面緘黙があり、初めての場所や人などに対して話す事ができなくなり、集団の中に入ることができない時があるため、個別の対応をとっている。重複障がい学級の2年生男子に関しては、独歩はできるが立位での静止ができないため教師の見守りが必要であり、歩行時には歩行器を使い授業に参加している。同じく重複障がい学級の3年生女子1名に関しては、歩行時に転倒の恐れもあるため職員の見守りを受けながら授業に参加している。加えて、中学校時代に不登校傾向のある生徒、情緒面が不安定な生徒、肥満体型の生徒など、実態は様々である。また学校外の活動で知的障がい者バレーボールチームに所属し、日頃運動をする機会のある生徒も2名いるが、それ以外の生徒に関しては運動をする機会が学校だけという生徒がほとんどである。

しかし、生徒の運動をする機会は少ないが、事前に行ったアンケートの結果では、運動をすることが好きな生徒は21人中16人と多い傾向にある。また今回実施するバレーボールに対しても関心が高く、意欲的な生徒が多い。

(2) 「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の習得状況

「知識及び技能」に関して、年間指導計画に沿ってバレーボールの単元を行っており、基礎的な技術や名称、ルールについて学習を行っている。その中で、技術面に関しては、アンダーハンドパスやオーバーハンドパスの空中でのボールコントロールが特に難しく個人技術に差がある。しかし、応用編のゲームでは、ルールを工夫しながら、全員がボールに触れられるようにし、得点を取り合う攻防などを楽しみながらゲームを展開できるようにしている。

「思考力、判断力、表現力等」に関しては、タブレット端末で撮影した個人技能から自己の課題を発見し、ポイントを押された技術練習を取り入れ、課題解決に向けた時間を設定している。しかし、解決するためのポイントを理解したとしてもなかなか体で表現することが難しいのが現状である。ただ、体で表現することは難しいが、自己の課題やチームの課題について、自分の考えを教師や友達に伝える場面を設定することで、自分の考えを言葉にして表現する姿が見られるようになってきた。言葉で表現することが難しい生徒に関しては、表現しやすいように選択制にして教師と一緒に考えながら取り組んでいる。

「学びに向かう力、人間性等」に関しては、運動の特性を理解し、決められたルール、マナーを守りながら、安全面に配慮した運動の実践を取り組むことができている。また、一人一人が自己の役割を理解し、集団の中で意欲的に活動に参加しながら、役割を果たそうと取り組んでいる。特に障がいの特性から集団に入ることが難しい生徒や体育への苦手意識がある生徒に関しては、役割をもつことで、その場に参加して活動に参加することができている。

5 学習を進めるにあたって

本単元の計画にあたっては、本校が令和5年度から取り組み、作成してきた小、中学部と高等部12年間の系統的な年間指導計画に、各単元の評価規準を照らし合わせた学習内容・評価系統表を活用しながら授業の構成を組み立てた。学習指導要領を参考に、12年間を見通した各単元の技能段階表や「思考力、判断力、表現力等」の段階表と評価基準を作成し、整理することで、各学部が異なる場所に位置する本校独自の環境下においても各学部間で繋がりのある指導を行うことができると考えた。

本校の保健体育の授業は、通常学級、重複障がい学級の生徒が合同で行っている。従って、生徒の物事を理解する力や運動に関する技能の実態差が大きいため、児童生徒一人一人の実態に応じた学習内容の設定、学習グループの編成、ルールの工夫、教材の工夫を行いながら運動の楽しさを味わうことができるように指導を行う。その中で、生徒が自己と運動の関わり方を考え、現在及び卒業後の

生活を明るく豊かにするスポーツライフの実現に向けた「思考力、判断力、表現力等」の育成を図りたい。

今回は、球技の「バレーボール」を取り上げる。バレーボールは、集団対集団で行うスポーツである。基本的なパスのスキルを習得し、仲間と考えたチーム内の役割を果たしながら得点を目指し、勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わうことができると考える。また、限られた空間で仲間と連携して攻撃を組み立てるというバレーボールの特性から、ルールの工夫を行うことで、生徒一人一人がもつ能力を十分に発揮しながら、ゲームを楽しむことができると考える。

そこで本单元の指導にあたっては、自己や仲間の課題を共に発見し、練習方法や作戦等を選択し組み立てることで課題解決に向かうことができる活動、自分や仲間の能力を十分に発揮することができるルールの工夫を生徒たちが自ら考える活動を中心に授業を開いていきたい。

課題解決学習については、生徒が自ら思考・判断・表現するためのツールとしてデジタル学習カードを活用しながら学習を進めていく。デジタル学習カードにバレーボールの基本的技能のポイントをまとめたり、生徒の練習や試合の様子を撮影して成長の過程を記録したりすることで、生徒が自分やチームの課題を発見するための手掛かりとして有効に活用できるようにしたい。また、課題解決学習を行うにあたって、生徒一人一人によって異なる課題が予想される。その際、課題に応じて学習グループを編成し、生徒同士の教え合い活動が活発に行われるよう工夫することで、生徒が互いに関わり合いながらバレーボールの学習に取り組むことができるようとする。

自分や仲間の能力を十分に発揮することができるルール作りについて、ルールの工夫を行う理由として、「全員がボールに触れることができるよう」、「攻撃による得点を増やそう」、「ラリーを続けよう」の3つの課題を提示し、学習を進めていく。正規のルールや教師が提案したルールを学習・体験し、生徒が感じたことを表現する活動を取り入れ、デジタル学習カードに記録していく。デジタル学習カードの記録を活用しながら、「コート内の人数」、「キャッチの有無」、「サービスの仕方」、「パスの回数」、「1プレイでの得点数」、「特定生徒の特別ルール」などのルールを生徒たちが自分で選択できるようにしたい。ルールの工夫によって課題を解決する学習を通して、生徒たち自らバレーボールを作り上げる成就感や、積極的にボールに触れ攻防を行うバレーボールという運動の楽しさや喜びを感じることができるようにしていきたい。

本時の指導においては、授業前には体育館に移動してきた生徒からランニングを行う。毎授業で時間は異なるが、平均すると3分程度のランニングを行っており、ウォーミングアップや体力作りのねらいがある。本時までの学習の振り返りでは、前時に行ったミニゲームや振り返りでの様子、本時までに学習、経験してきたルールの種類や特徴を確認する。その後、各グループで「みんなが楽しめるルール」について考え、自分だけでなく仲間が良さをいかして楽しむことができるルールについて思考する時間を設定する。ルールを思考するポイントとして、「全員がボールに触れることができるよう」、「攻撃による得点を増やそう」、「ラリーを続けよう」の視点を示し、本時までに経験したルールから選択したり、経験したルールを応用したりすることができるようとする。これらの3つの視点は本单元の課題でもある。どのようにルールを工夫すれば全生徒がボールに触れ、バレーボールの攻防を楽しむことができるかを、生徒たち自身で考え、作り出すことができるようデジタル学習カードや視覚教材を用いて必要な支援を行う。「⑤ミニゲームの振り返り」は、本時の目標である【みんなが楽しめるルールを考えよう！】が当てはまる活動であることを明確にし、見通しをもって授業に取り組めるようにする。チーム練習では、後に行われるミニゲームを見据えてルールの確認も兼ねて行う。ミニゲームは前後半6分の試合を行う。コートに入らない生徒は得点係やラインジャ

ッジの役割に責任をもって取り組み、スポーツを支える関わり方を理解できるようにする。ミニゲーム中、生徒のプレイや発言の様子を観察し、後の振り返りに有効に活かすことができるような場面があった際には、その場で生徒にプレイの感想を聞き出していく。ミニゲーム全体が活発になるよう、良いプレイを称賛し、ミスをした生徒には励ます言葉を掛けるよう随時言葉掛けを行う。ミニゲームの振り返りでは、自分たちで決めたルールについて、「全員がボールに触れることができたか」、「攻撃による得点を増やすことができたか」、「ラリーを続けることができたか」の視点で振り返りを行う。生徒が積極的に発言することができるよう、生徒の発言や意見を称賛し、必要に応じて教師が生徒に問い合わせる等の支援を行う。次のルールを決める学習では、ルールを選択、決定する理由に重点を置いて話し合い活動が進められるように指導を行う。特定の生徒が独断で決めることがないよう、伝え合うことを繰り返し確認し、生徒同士が合意して決められるようにしたい。友達の意見を認めた上で自分の意見を伝え、友達と協力して物事を決定する態度を育むことができるよう、必要に応じて言葉掛けを行う。まとめでは、振り返りの結果と次のルールについて話し合ったことを発表する場を設定している。それぞれのグループの話し合い活動の様子を称賛し、次の授業への意欲を高められるようにする。この授業を通して、生徒たちが、自他が楽しむことができるルールを自ら考え、選択し、表現する力を身に付け、ルールを工夫することで運動やスポーツの楽しさがより感じられるようになることを理解し、生涯にわたって運動やスポーツと関わろうとする態度を育成したい。

6 単元の評価規準

○ 単元の評価規準（単元の評価規準：特別支援学校学習指導要領より）

単元の評価規準	段階	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	I段階	○ 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。	○ 球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。	○ 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動することができる。
II段階	○ 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。	○ 球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。	○ 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動することができる。	

○ 学習活動に準拠した評価規準

単元の評価規準	段階	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	I段階	① バレーボールの基本的技能ポイントについて、理解することができる。 ② 片手もしくは両手を使って、相手コートにボールを打ち返すことができる。 ③ 味方の方向にボールをパスすることができる。	① 仲間の良かった点と課題を発見し、提示された動きのポイントから選び、伝えている。 ② 安全上の留意点に自ら気付き、活動している。 ③ 仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えている。	① バレーボールの学習に積極的に取り組んでいる。 ② マナーやきまりを守りフェアなプレイを心がけている。
II段階	① バレーボールの基本的技能ポイントについて理解し、応用することができる。 ② 相手コートの空いた場所にボールを返すことができる。 ③ 味方が操作しやすい位置にボールをパスすることができる。	① 自分や仲間の動きを見て、良い点や改善点を仲間に伝えている。 ② 主運動につながる準備運動を選んでいる。 ③ 仲間と一緒に楽しむための活動方法や修正の方法を発見し、伝えている。	① バレーボールの学習に見通しをもって積極的に取り組んでいる。 ② マナーを守ったり、言葉掛けや拍手などで相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを心がけている。	

※学習内容系統表【知識及び技能等編（実現状況を判断する目安）】

学習内容系統表【思考力、判断力、表現力等編（実現状況を判断する目安）】Ver. 小林こすもすより

東洋の地理と歴史

時間		1 3 (10/30 水)	1 4 (11/1 金)
指導内容	知	③味方に繋ぐ	③味方に繋ぐ
思	③ルールの思考		②安全な運動の行い方
学			
学習の流れ			
0	1 準備運動 ウォーミングアップ	1 準備運動 ウォーミングアップ	
10	2 みんなが楽しめるルール	2 ルール確認	
20	3 ミニゲーム ○前後半8分 ○自分たちで考えたルール	3 ミニゲーム ○前後半10分	
30	4 ミニゲームとルールの振り返り	4 ミニゲームの振り返り	
40	○話し合い活動	5 まとめ ○デジタル学習カード ・個人の反省 ・チームの反省	
50	5 まとめ ○学習カード	・ルールと楽しみ方	
評価			
学	知	観察②	観察②
思	デジタル学習カード、観察③	デジタル学習カード、観察②	デジタル学習カード、観察②
学	観察②		
準備物			
保健分野	・タブレット端末	・ホイッスル	・ビブス
体育理論	・ホワイトボード	・学習カード	・ネット
自立活動	・カラーマーカー	・バーボル	・得点板
	・テレビ		
「けがや疾病の予防」「ストレスへの対処」			
「運動の多様性」			
「人間関係の形成」「コミュニケーション」			

8 本時の学習（12/14）

（1） 本時の目標

I 段階

・・・仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えることができる。

II 段階

・・・仲間と楽しむための活動方法や修正の方法を発見し、伝えることができる。

（思考力、判断力、表現力等）

I 段階

・・・マナーやきまりを守りフェアなプレイを心がけることができる。

II 段階

・・・マナーを守ったり、言葉掛けや拍手などで相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを心がけることができる。

（学びに向かう力、人間性等）

（2） 本時の評価項目

I 段階

・・・仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えている。

II 段階

・・・仲間と楽しむための活動方法や修正の方法を発見し、伝えている。

（思考・判断・表現）

I 段階

・・・マナーやきまりを守りフェアなプレイを心がけている。

II 段階

・・・マナーを守ったり、言葉掛けや拍手などで相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを心がけている。

（主体的に学習に取り組む態度）

9 学習指導過程

時間	学習内容及び学習活動	グループ別学習活動及び指導上の留意点	資料・準備
授業前	1 ランニング	<p>さくらグループ</p> <p>こすもすグループ</p> <p>集まった生徒から消毒を行い、教師の合図があるまでランニングを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タイマーを見やすい位置に配置し、生徒が自ら走る時間を確認できるようにする。(T1) ・ 安全に留意して走ることができるように言葉掛けを行う。(T1～T6) ・ 並走し、他生徒との衝突や転倒を防ぐことができるようになる。(T6) 	<p>・ タイマー</p>
1分	2 整列・挨拶	<p>ビブスを着用して整列する。号令に合わせて姿勢を正し、全員で始まりの挨拶をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 分離礼を意識できるように言葉掛けを行う。(T1) 	<p>・ ビブス</p> <p>・ カラーマー</p> <p>一 カ 一</p>
3分	3 ラジオ体操	<p>ラジオ体操を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ラジオ体操の模範を示しながらポイントとなる身体の部位や動きを説明することで、生徒が正しい動きで体操を行うことができるようになる。(T1) ・ 必要に応じて一緒に体操を行う。(T6) ・ 必要に応じて一緒に体操を行う。(T5) 	<p>・ スピーカー</p>
2分	4 本時の学習内容と目標	<p>本時の学習内容と目標を確認する。</p> <p>①本時までの学習の振り返り</p> <p>②本時のルール決め</p> <p>③チーム練習</p> <p>④ミニゲーム</p> <p>⑤ミニゲームの振り返りが本時の目標に当たる活動であることを明確にすることで、見通しをもって授業に取り組むことができるようになる。(T1)</p>	<p>・ ホワイトボード</p> <p>・ テレビ</p> <p>・ タブレット端末</p> <p>・ テレビ</p>

	<p>⑤ミニゲームの振り返り (本時の目標) ⑥まとめ</p> <p>本時までの学習の振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 動画や写真を示すことで、前時の活動を具体的に思い出すことができるようにする。(T1) 活躍した生徒を称賛し、本時の活動に意欲的に取り組むことができるようにする。(T1～T6) 経験してきたルールの特徴や感想を問い合わせ、自分や友達の能力に合ったルールについて考えることができるようにする。(T1) 視線が逸れているときは言葉掛けを行い、前方を見て話を聞くことができるようになる。(T6) 必要に応じて支援を行い、安定した姿勢で話を聞くことができるようになる。(T5) テレビ ・タブレット端末 ・デジタル学習カード
<p>3分</p> <p>5 本時までの学習の振り返り</p>	<p>6 本時のルール決め</p> <p>それぞれのグループで本時に行うミニゲームのルールについて話し合い、決定する。</p> <p>①ボールの種類 ②キヤッチの有無 ③プレイ中の追加得点 3つの項目についてグループで話し合い活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「みんなが楽しめる」という言葉を「全員がボールに触れることができる」「攻撃による得点を増やす」、「ラリーを続ける」という言葉に言い換え、自分が活躍する姿や場面を想像しながらルール決めに取り組むことができるようになる。(T1) 本時までにデジタル学習カードに蓄積してきたルールの特徴や、学習したときの感想を振り返しながらルールの決定を行うことができるようになる。(T1～T6) ルールを考えた理由について、各グループごとに発表する時間を作ることで、本時のルールを理解し、意識してミニゲームに取り組むことができるようになる。(T1) 振り返り時の目標との繋がりを確認することで、「みんなが楽しめるルール」について考えたり感じたりしながらゲームに取り組むことができるようになる。(T1～T6)
	<p>(本文は複数回提出されたため、本文の右端に記載する「提出用紙」は複数枚あります)</p>

<p>7分</p> <p>7 チーム練習</p> <p>チームで練習を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> デジタル学習カードを活用し、本時までに経験したルールの中から、自分の意思で本時のルールを選択することができるようになる。(T6) <ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて言葉掛けや選択肢の提示を行うことで、友達との話し合い活動に参加し、自分の考えを表現できるようになる。(T4) 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル学習カードを活用し、本時までに経験したルールの中から、自分の意思で本時のルールを選択することができるようになる。(T5) <ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて言葉掛けや選択肢の提示を行うことで、友達との話し合い活動に参加し、自分の考えを表現できるようになる。(T4)
<p>17分</p> <p>8 ミニゲーム</p> <p>○ こすもすグループ8分 コートチエンジ1分 さくらグループ8分</p>	<ul style="list-style-type: none"> 練習を行う中で、必要に応じてプレイを中断してルールの確認を行うことで、本時のルールを理解できるようになる。(T1～T6) <ul style="list-style-type: none"> 良いプレイが見られたときは称赞と拍手を行い、練習やミニゲームへの意欲を高められるようになる。(T1～T6) 	<ul style="list-style-type: none"> 前向きな言葉掛けを行い、意欲的に練習に取り組むことができるようになる。(T4) <ul style="list-style-type: none"> 仲間との距離感や言葉掛けを確認し、安全に留意して練習やミニゲームに参加できるようになる。(T6)

<ul style="list-style-type: none"> ゲームを行う生徒のプレイや発言を観察し、必要に応じて簡単にできた場面や、難しかった場面を生徒と確認し、振り返りに活かせることにする。(T1～T6) ゲームの様子を撮影し、本時や次回の授業時の振り返り活動で活用できるようにする。(T2) ルールの違いや、プレイする友達の表情や動きの良いところに注目しながら観戦することができるようになり言葉掛けを行う。(T1～T6) 観戦している間に水分補給を促す。(T1～T6) 	<ul style="list-style-type: none"> 周りを見ずにボールを追っている時は、本人や周囲への言葉掛けを行う。必要に応じて移動を止めさせる。(T6) 観戦中に体調をこまめに確認し、水分補給や緊張の少ない姿勢での観戦を行う。(T5) 各グループで分かれ、ミニゲームのルールを振り返り、次回のミニゲームのルールを決める。
<p>○ミニゲームの振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 「全員がボールに触れることができたか」、「攻撃による得点を増やすことができたか」、「ラリーを続けることができたか」の振り返る視点を示す。(T1、T2) 各視点の振り返り時間を設定(2分)し、効率よく振り返り活動を進めることができるようにする。(T1) 必要に応じて生徒の意思の表出を支援し、自信をもつて発言することができるようにする。(T1～T6) 撮影した動画で話し合いのポイントとなる場面を示し、具体的な場面を取り上げてミニゲームの振り返りを行うことができるようになる。(T1、T2) 	<ul style="list-style-type: none"> 各グループの振り返り内容や次回のルールを確認する。 振り返り内容と次回のルールについて代表者に発表させ、称賛することで自信や意欲を高めることができるようにする。(T1) 本時の目標「みんなが楽しめるルールを考えよう」は生涯におけるスポーツライフの中で大切な考え方であることを確認し、自己と運動との繋がりを感じられるようになる。(T1)

一分	- 終わりの挨拶	号令に合わせて姿勢を正し、全員で終わりの挨拶をする。 ・ 分離礼を意識できるように言葉掛けを行う。(T1)
----	-----------	--

10 本単元に関する生徒の実態及び本時の目標

〔評価基準〕

＜思考力、判断力、表現力等＞

I 段階

- A…仲間と話し合う場面で自分の考えや意見を伝えている。
- B…仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えている。
- C…仲間と話し合う場面で、選択肢の中から考えや意見を伝えている。

II 段階

- A…仲間と話し合う場面で、自分の考えや意見を伝え、チームへの関わり方を見付けている。
- B…仲間と楽しむための活動方法や修正の方法を発見し、伝えている。
- C…仲間と話し合う場面で、チームの意見や考えを聞き、チームへの関わり方を教師と一緒に見付けている。

※学習内容系統表【思考力、判断力、表現力等編(実現状況を判断する目安)】Ver.小林こすもすより

氏名	単元に関する生徒の実態	本時の目標	評価項目	評価
さくらグローブ(白ビブス)	A 1年 ①	球技を好み、怖がることなく飛んできたボールに関わろうとする。 勝ち負けにこだわりはなく、仲間と楽しもうとする姿勢が見られる。 話し合いの場面では、友達の意見を聞いたり、自分の意見を積極的に伝えたりすることができます。	仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えることができる。	仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えている。
			マナー やきまりを守りフェアなプレイを心がけることができる。	マナー やきまりを守りフェアなプレイを心がけている。
	B 1年 ②	球技を好み、怖がることなく飛んできたボールに関わろうとする。 疲れやすく、疲れた時に粗暴な発言や行動をすることがある。 話し合いの場面では、他者の意見も取り入れながら自分の意見を考え、伝えることができる。	仲間と楽しむための活動方法や修正の方法を発見し、伝えることができる。	仲間と楽しむための活動方法や修正の方法を発見し、伝えている。
			マナー やきまりを守りフェアなプレイを心がけることができる。	マナー やきまりを守りフェアなプレイを心がけている。
	C 1年 ③	運動はあまり好きではなく、体育の授業にも消極的である。 一人では動けなくなってしまうことがあります、支援が必要である。緘黙があり、言葉での表出が難しい。選択肢を提示し、選ぶことで意思を表出することができる。	仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えることができる。	仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えている。
			マナー やきまりを守りフェアなプレイを心がけることができる。	マナー やきまりを守りフェアなプレイを心がけている。

	D 2年 ④	<p>失敗に対する不安を感じやすく、丁寧な説明をすることでお心して活動に取り組むことができる。</p> <p>友達との関わりは積極的ではないが、同じ活動と一緒に楽しむことができる。</p> <p>話し合いの場面では、自分から意見や考えを表現することが難しい。</p>	<p>仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えることができる。</p> <p>マナーを守ったり、言葉掛けや拍手などで相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを心がけることができる。</p>	<p>仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えている。</p> <p>マナーを守ったり、言葉掛けや拍手などで相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを心がけている。</p>	
	E 2年 ⑤	<p>運動は得意ではないが、授業には積極的に参加し、仲間と一緒に楽しむことができる。</p> <p>話し合いの場面では、考えたことを自ら発信することは少ない。教師や友達に問われたときには表現することができる。</p>	<p>仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えることができる。</p> <p>マナーやきまりを守りフェアなプレイを心がけることができる。</p>	<p>仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えている。</p> <p>マナーやきまりを守りフェアなプレイを心がけている。</p>	
	F 2年 ⑥	<p>球技を好み、怖がることなく飛んできたボールに関わろうとする。</p> <p>全体指示に加え、個別に確認が必要な時がある。</p> <p>話し合いの場面では、自ら意見や考えを伝えることが難しい。</p>	<p>仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えることができる。</p> <p>マナーやきまりを守りフェアなプレイを心がけることができる。</p>	<p>仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えている。</p> <p>マナーやきまりを守りフェアなプレイを心がけている。</p>	
	G 2年 ⑦	<p>運動を好み、授業に意欲的に参加している。飛んでくるボールとの距離感や力加減の調節が難しい。</p> <p>全体指示に加えて個別に確認が必要な時がある。</p> <p>話し合いの場面では、教師と一緒に意見をまとめ、表現することが多い。</p>	<p>仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えることができる。</p> <p>マナーやきまりを守りフェアなプレイを心がけることができる。</p>	<p>仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えている。</p> <p>マナーやきまりを守りフェアなプレイを心がけている。</p>	
	H 3年 ⑧	球技を好み、飛んできたボールに関わろうとするが、ボールとの距離感や力加減の調節が難しい。	仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えることができる。	仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えている。	

		<p>誰にでも平等に接し、集団での活動を楽しもうとする。</p> <p>話し合いの場面では、自分の考えを、自信をもって発言できないことがある。</p>	<p>マナーを守ったり、言葉掛けや拍手などで相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを心がけることができる。</p>	<p>マナーを守ったり、言葉掛けや拍手などで相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを心がけている。</p>	
I 3年 ⑨		<p>球技を好み、怖がることなく飛んできたボールに関わろうとする。</p> <p>誰にでも平等に接し、集団での活動を楽しもうとする。</p> <p>話し合いの場面では、他者の意見を取り入れ、まとめることができるが、自信をもって自分の考えを発信できないことがある。</p>	<p>仲間と楽しむための活動方法や修正の方法を発見し、伝えることができる。</p>	<p>仲間と楽しむための活動方法や修正の方法を発見し、伝えている。</p>	
			<p>マナーを守ったり、言葉掛けや拍手などで相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを心がけることができる。</p>	<p>マナーを守ったり、言葉掛けや拍手などで相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを心がけている。</p>	
J 3年 ⑩		<p>教師の支援を受けながら、飛んでくる風船に手を伸ばし、打ち返すことができる。</p> <p>友達や教師との関わりを好み、集団での活動を楽しむことができる。</p> <p>話し合いの場面では、教師と一緒に考え、意思の表出を促す支援が必要である。</p>	<p>仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えることができる。</p>	<p>仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えている。</p>	
			<p>マナーやきまりを守りフェアなプレイを心がけることができる。</p>	<p>マナーやきまりを守りフェアなプレイを心がけている。</p>	
こすもす グループ (ピンクビ ブス)	K 1年 ①	<p>知的障がい者バレー部チームに所属し、バレー部の学習に意欲的に取り組む。</p> <p>勝敗にこだわりがあり、負けた時には泣いてしまったり、気持ちの整理がつかず動けなくなったりすることがある。</p> <p>話し合いの場面では、自分の考えを、自信をもって発言することが難しい。</p>	<p>仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えることができる。</p>	<p>仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えている。</p>	
			<p>マナーやきまりを守りフェアなプレイを心がけることができる。</p>	<p>マナーやきまりを守りフェアなプレイを心がけている。</p>	
	L 1年 ②	<p>不満や不安に感じると授業に参加できないことがある。</p> <p>運動は得意ではないが、友達と活動することは好きであり、友達を応援する姿も見られる。</p> <p>話し合いの場面では、自分の考えを伝えることができる。</p>	<p>仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えることができる。</p>	<p>仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えている。</p>	
			<p>マナーやきまりを守りフェアなプレイを心がけることができる。</p>	<p>マナーやきまりを守りフェアなプレイを心がけている。</p>	

M 1年 ③	運動を好むが、動きが複雑な身体の動きに対して苦手意識を感じると、消極的になることがある。 話し合いの場面では、自ら意見をまとめて表現することは難しく、教師と一緒に考える支援が必要である。	仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えることができる。 マナーやきまりを守りフェアなプレイを心がけることができる。	仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えている。 マナーやきまりを守りフェアなプレイを心がけている。	
	球技を好み、怖がることなく飛んできたボールに関わろうとする。 友達と協力する姿が見られ、集団での活動を楽しむことができる。 話し合いの場面では、自ら自分の意見を伝えることができる。	仲間と楽しむための活動方法や修正の方法を発見し、伝えることができる。 マナーを守ったり、言葉掛けや拍手などで相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを心がけることができる。	仲間と楽しむための活動方法や修正の方法を発見し、伝えている。 マナーを守ったり、言葉掛けや拍手などで相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを心がけている。	
N 2年 ④	球技を好み、飛んできたボールに関わろうとするが、ボールとの距離感や力加減の調節が難しい。 友達と協力する姿が見られ、集団での活動を楽しむことができる。 話し合いの場面では、自ら自分の意見を伝えることができる。	仲間と楽しむための活動方法や修正の方法を発見し、伝えることができる。 マナーを守ったり、言葉掛けや拍手などで相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを心がけることができる。	仲間と楽しむための活動方法や修正の方法を発見し、伝えている。 マナーを守ったり、言葉掛けや拍手などで相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを心がけている。	
	球技を好み、怖がることなく飛んできたボールに関わろうとする。 関わろうとする友達が固定されやすく、自己中心的な発言をすることがある。 話し合いの場面では、話し合う内容について丁寧に説明することが必要である。	仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えることができる。 マナーやきまりを守りフェアなプレイを心がけることができる。	仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えている。 マナーやきまりを守りフェアなプレイを心がけている。	
O 2年 ⑤	球技を好み、飛んできたボールに関わろうとするが、ボールとの距離感や力加減の調節が難しい。 友達と協力する姿が見られ、集団での活動を楽しむことができる。 話し合いの場面では、自ら自分の意見を伝えることができる。	仲間と楽しむための活動方法や修正の方法を発見し、伝えることができる。 マナーを守ったり、言葉掛けや拍手などで相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを心がけることができる。	仲間と楽しむための活動方法や修正の方法を発見し、伝えている。 マナーを守ったり、言葉掛けや拍手などで相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを心がけている。	
	球技を好み、怖がることなく飛んできたボールに関わろうとする。 関わろうとする友達が固定されやすく、自己中心的な発言をすることがある。 話し合いの場面では、話し合う内容について丁寧に説明することが必要である。	仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えることができる。 マナーを守ったり、言葉掛けや拍手などで相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを心がけることができる。	仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えている。 マナーを守ったり、言葉掛けや拍手などで相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを心がけている。	
P 2年 ⑥	球技を好み、怖がることなく飛んできたボールに関わろうとする。 関わろうとする友達が固定されやすく、自己中心的な発言をすることがある。 話し合いの場面では、話し合う内容について丁寧に説明することが必要である。	仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えることができる。 マナーを守ったり、言葉掛けや拍手などで相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを心がけることができる。	仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えている。 マナーを守ったり、言葉掛けや拍手などで相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを心がけている。	
	知的障がい者バレーボールチームに所属している。球技を好み、怖がることなく飛んできたボールに関わろうとするが、力加減の調節が難しい。 友達に助言をしたり、応援をしたりして集団での活動を樂	仲間と楽しむための活動方法や修正の方法を発見し、伝えることができる。 マナーを守ったり、言葉掛けや拍手などで相手の健闘を認めたり	仲間と楽しむための活動方法や修正の方法を発見し、伝えている。 マナーを守ったり、言葉掛けや拍手などで相手の健闘を認めたり	

		しむことができる。 話し合いの場面では、自分の意見を伝えることができる。	して、フェアなプレイを心がけることができる。	して、フェアなプレイを心がけている。	
R 2年 ⑧		運動はあまり好まないが、友達と一緒に活動を楽しむことができる。 全体指示に加えて個別に確認が必要な時がある。 話し合いの場面では、話し合う内容について丁寧に説明することが必要である。	仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えることができる。	仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えている。	
			マナーを守ったり、言葉掛けや拍手などで相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを心がけることができる。	マナーを守ったり、言葉掛けや拍手などで相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを心がけている。	
S 2年 ⑨		歩行器を使用している。独歩もできるが、突発的な危険回避等の動きは難しく、転倒の恐れもあるため常時教師の支援が必要である。 教師の支援を受けながら、飛んでくる風船に手を伸ばし、打ち返すことができる。 話し合いの場面では、自分の意見や考えを表現することが難しい。	仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えることができる。	仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えている。	
			マナーやきまりを守りフェアなプレイを心がけることができる。	マナーやきまりを守りフェアなプレイを心がけている。	
T 3年 ⑩		球技を好み、飛んできたボールに関わろうとするが、ボールとの距離感や力加減の調節が難しい。 話し合いの場面では、話し合う内容について丁寧に説明することが必要である。	仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えることができる。	仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えている。	
			マナーを守ったり、言葉掛けや拍手などで相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを心がけることができる。	マナーを守ったり、言葉掛けや拍手などで相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを心がけている。	
U 3年 ⑪		不満や不安に感じることがあると固まって活動に参加できないことがある。 教師の支援を受けながら、飛んでくる風船に手を伸ばし、打ち返すことができる。 話し合いの場面では、教師と一緒に考え、意思の表出を促す支援が必要である。	仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えることができる。	仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見し、伝えている。	
			マナーやきまりを守りフェアなプレイを心がけることができる。	マナーやきまりを守りフェアなプレイを心がけている。	

段階	1段階			2段階			3段階			4段階			5段階			6段階			7段階			
	小1段階			小2段階			小3段階			中1段階			中2段階			高1段階			高2前回			
領域	Eボール遊び		Eボールを使った運動やゲーム		E球技		(ゴール型、ネット型、ベースボール型)		(ゴール型、ネット型、ベースボール型)		(ゴール型、ネット型、ベースボール型)		(ゴール型、ネット型、ベースボール型)		(ゴール型、ネット型、ベースボール型)		(ゴール型、ネット型、ベースボール型)		(ゴール型、ネット型、ベースボール型)		(ゴール型、ネット型、ベースボール型)	
規則やルールの工夫すること	A 教師の合図に従つて、ボールを使って遊ぶことができる。 B 教師の指示を聞いて、ボールを使って遊ぶことができる。 C 教師と一緒にボールを守り、ボールを使つて遊ぶことができる。	A 簡単なルールで友達と一緒にがけいけたり逃げたりするゲームで楽しむことができる。 B ボールを投げたり、蹴ったりして、教師や友達と一緒にボールのやり取りをすることができる。 C ボールを使つた運動やゲームを楽しんで遊ぶことができる。	A 団体対集團で競い合つたボールをゲームで楽しむことができる。	A 自分の見かつた点や課題を見付け、提供された点と課題を解決のため練習方法を工夫し伝えることができる。	A 自分やチームの見かつた点と課題を発見し、課題解決のため練習方法を工夫し伝えることができる。	A 自他の課題を見直し、仲間で練習の仕方を改善することができる。	A 自分や他の課題に応じて練習の仕方を改善することができる。	A 自分や仲間の動きを見て、良い点や改善点を仲間に伝えることができる。														
役割の確認と作戦を選ぶこと	A 選択した活動を教師と一緒に楽しむことができる。 B 教師と一緒に活動を選択することができる。 C 教師と一緒に活動を教師と一緒に楽しむことができる。	A 自分が取り組みたい活動を選択することができる。 B 自分が取り組みたい活動を選択することができる。	A 自分が取り組みたい活動を選択することができる。	A 用具の扱い方や場の安全について考え、楽しく活動することができる。	A 自分の体力に合わせて安全に活動することができる。	A 安全上の留意点に自ら気付き、他者に伝えることができる。	A 安全上の留意点に自ら気付き、他者に伝えることができる。	A 協力して安全に活動できる方法を仲間に伝えることができる。														
運動の楽しさを伝えること	A 教師と一緒に取り組んだ運動の楽しさを言葉で伝えることができる。 B 教師と一緒に取り組んだ運動の支援を受けて、運動を楽しむことができる。	A 教師の支援を受けて、運動を楽しむことができる。 B 教師の支援を受けて、運動を楽しむことができる。	A 教師の支援を受けて、運動を楽しむことができる。 B 教師の支援を受けて、運動を楽しむことができる。	A ボールを捕つたり止めたりするときに行った工夫を動作や言葉で伝えることができる。	A 仲間と一緒に楽しむための練習やゲームを行う方法を教習することができる。	A 仲間と一緒に楽しむための練習やゲームを行う方法を教習することができる。	A 仲間と一緒に楽しむための練習やゲームを行う方法を教習することができる。	A 仲間と一緒に楽しむための練習やゲームを行う方法を教習することができる。	A 仲間と一緒に楽しむための練習やゲームを行う方法を教習することができる。	A 仲間と一緒に楽しむための練習やゲームを行う方法を教習することができる。	A 仲間と一緒に楽しむための練習やゲームを行う方法を教習することができる。	A 仲間と一緒に楽しむための練習やゲームを行う方法を教習することができる。	A 仲間と一緒に楽しむための練習やゲームを行う方法を教習することができる。	A 仲間と一緒に楽しむための練習やゲームを行う方法を教習することができる。	A 仲間と一緒に楽しむための練習やゲームを行う方法を教習することができる。	A 仲間と一緒に楽しむための練習やゲームを行う方法を教習することができる。	A 仲間と一緒に楽しむための練習やゲームを行う方法を教習することができる。	A 仲間と一緒に楽しむための練習やゲームを行う方法を教習することができる。	A 仲間と一緒に楽しむための練習やゲームを行う方法を教習することができる。	A 仲間と一緒に楽しむための練習やゲームを行う方法を教習することができる。	A 仲間と一緒に楽しむための練習やゲームを行う方法を教習することができる。	
運動の様子を伝えること	A 教師と一緒に運動の楽しさを表現することができる。 B 教師と一緒に運動の楽しさを表現することができる。	A 教師の支援を受けて、運動を楽しむことができる。 B 教師の支援を受けて、運動を楽しむことができる。	A 教師の支援を受けて、運動を楽しむことができる。 B 教師の支援を受けて、運動を楽しむことができる。	A がんばりが飛んだり、転がったりしてくるところに入ることについて、考え方などを、言葉で伝えることができる。	A がんばりが飛んだり、転がったりしてくるところに入ることについて、考え方などを、言葉で伝えることができる。	A がんばりが飛んだり、転がったりしてくるところに入ることについて、考え方などを、言葉で伝えることができる。	A がんばりが飛んだり、転がったりしてくるところに入ることについて、考え方などを、言葉で伝えることができる。	A 仲間と一緒に楽しむ場面で、自分の考え方や意見を伝えることができる。														

学習内容系統表【思考力、判断力、表現力等編(手立て一覧表)】小林こすむす支援学校

⑫-1 『みんなが楽しめるルールを考えよう①』

学習内容① 今日のルール決め

【 】グループの今日のルール	
①ボールの種類	
②キャッチ	あり なし
③1プレイの得点	

ルールを決めるポイント
 <1> 【 全員 】がボールにふれる
 ことができるようにしてよう
 <2> 【 攻撃 】による得点を増やすよう
 <3> 【 ラリー 】を続けよう



⑥-4 『3回つなぐ良さを理解しよう』

学習内容② キャッチ

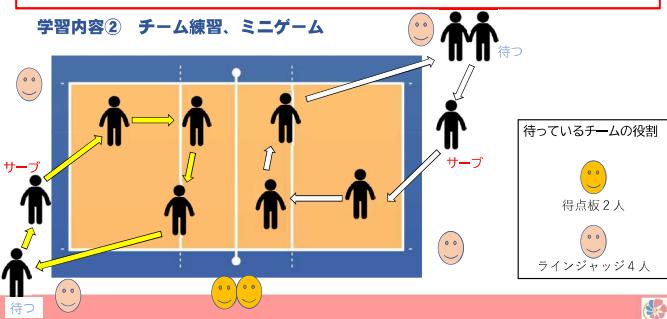
キャッチなし			
キャッチあり	ラリー中に1回だけしてもよい 何回でもしてよい	決められた1人だけキャッチして良い 誰でもキャッチして良い	キャッチした場所からは動けない キャッチした場所から自由に移動できる



「キャッチあり」の中でも組み合わせがある！
 自分たち(全員)が楽しめる組み合わせを探してみよう！

⑫-2 『みんなが楽しめるルールを考えよう①』

学習内容② チーム練習、ミニゲーム



⑦-2 『得点を目指して攻撃しよう！』

学習内容② パスの回数 ～何回以内で相手コートに返すか～

3回以内	キャッチなし キャッチあり
5回以内	キャッチなし キャッチあり
何回でも良い	キャッチなし キャッチあり



『キャッチしても良いか』というルールと組み合わせながら、
 自分たち(全員)が楽しめるルールを探してみよう！

⑫-3 『みんなが楽しめるルールを考えよう①』

学習内容③ 振り返り

今日のルール	
①ボールの種類	
②キャッチ	あり なし
③1プレイの得点	

全員がボールに触れることができたか	×	△	○
攻撃の得点を増やすことができたか	×	△	○
ラリーが続いたか	×	△	○
感想・感じたこと	・		

⑦-3 『得点を目指して攻撃しよう！』

学習内容③ 1プレイの得点

1プレイの得点数	生まれる効果
1点	全員のバスの技術アップ！
3回で返したら2点	3回つなぐ意識アップ！
特定の生徒が決めたら2点	どうやって繋ぐ？ 役割や作戦を考える力UP

今までに学習したルールとの組み合わせはどうする？
 他にも得点のアイデアはないかな？

⑥-3 『3回つなぐ良さを理解しよう！感じよう！』

学習内容① ボールの種類と特徴

	・ボールの硬さ 【 】
	・ボールのスピード 【 】
	・難しさ 【 】
	・ボールの硬さ 【 】
	・ボールのスピード 【 】
	・難しさ 【 】



⑦-4 『いろいろなルールを体験し、感じたことを表現しよう②』

学習内容④ 振り返り

全員で楽しかったと感じたバスの回数 【 】回	【感想】
キャッチ【あり・なし】	
全員で楽しかったと感じた1プレイの得点	【感想】

得点のアイデアがあったら書いてみよう！

